

氏名	中 川 潤
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 245 号
学位授与の日付	昭和42年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系病理学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	アデノウイルス12型の発癌に関する病理組織学的研究特に 腹腔内に於ける腫瘍芽の分布について
論文審査委員	教授 小川 勝士 教授 田中 早苗 教授 砂田 輝武

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

アデノウイルス12型によって動物に誘発された腫瘍の本態に就いては、当教室では未熟な神経外胚葉性細胞由来のものを見做し、その病理発生に関し種々の検索がなされて来た。然し発癌初期像の追求は、従来主としてウイルス腹内接種後、特定の部位に就いてのみ行われており、腹腔全体の観察は未だ充分といえない。今回著者は新生仔ハムスターの腹腔に本ウイルスを接種し、胴体の連続横断切片を作製して、経時的に腹腔内組織全体の変化、特に腫瘍芽の発生部位並びにその分布を検討した。

ウイルス接種後7日目頃には、腹膜及び一部実質臓器に軽度な慢性増殖性炎症像がみられた。腫瘍芽は顕微鏡的には接種10日目以後に発見され多中心発生を示した。好発部位に特徴はなかったが、骨盤腔、諸臓器間の隅角部に稍々多く、最も特異な所見は腹膜漿膜下並びに腹腔内乃至後腹膜諸臓器の被膜部に分布し、臓器実質内に見出し得なかったことである。細胞形態には初期から大小不同や多形性を示すものがあった。

細胞核病理学雑誌11巻2号(1967年10月)掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究は、アデノウイルス12型を新生仔ハムスターの腹腔内の接種し、胴体の連続切片を作製して腫瘍芽の分布を追及したものであるが、腫瘍発生部位の特異性を明白にすることによって腫瘍母細胞の決定に有力な証拠を提供したものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。